

令和元年度 事業報告

中国の古紙輸入政策変更を始め国内外における古紙を取り巻く環境が大きく変化する中、日本の紙リサイクルシステムの維持、古紙品質の維持・向上に向け、古紙品質安定対策事業、広報事業、調査研究事業及び紙の資源リサイクル事業を4つの柱として取り組んできた。そうした中、令和2年に入り世界的に感染が拡大している新型コロナウイルスの影響を受け、一部事業の中止や延期を余儀なくされてきたが令和元年度事業については概ね予定通り実施した。

1. 古紙品質安定対策事業

中国の古紙輸入削減ならびに東南アジアの低品質古紙輸入禁止の動きが拡大する中、古紙品質の維持向上を図るため以下の事業を実施した。

(1) 古紙品質調査事業（平成24年度から継続）

令和元年度より調査事業を全国展開することとし、新たに北海道地区、東北地区、中・四国地区、九州地区で発生する古紙についても、製紙工場において古紙の開梱組成調査を実施した。

地区	段ボール	新聞	雑誌
北海道地区	1工場 1ベール	1工場 1ベール	
東北地区	1工場 1ベール		
関東地区	5工場 10ベール	4工場 8ベール	10工場 20ベール
中部地区	3工場 6ベール	2工場 4ベール	4工場 8ベール
近畿地区	3工場 7ベール	1工場 2ベール	1工場 2ベール
中・四国地区	2工場 4ベール	1工場 2ベール	1工場 2ベール
九州地区	2工場 4ベール	2工場 4ベール	3工場 5ベール

段ボール、新聞、回収雑誌の開梱組成調査の結果は以下のとおりである。近年、禁忌品比率はいずれも基準を下回っていたが、新たに始めた一部地区の禁忌品混入比率が高いことから全国平均は基準をオーバーする結果となった。データをフィードバックし改善を求めている。

【段ボール】

	段ボール	その他紙 〈基準 3%以下〉	禁忌品(A+B) 〈基準 0.3%以下〉
令和元年度	97.8%	1.8%	0.4%
過去8年※平均	96.3%	2.8%	0.9% ^注

注) 過去8年平均の禁忌品は、平成24年度、平成25年度の一部ベールで禁忌品混入の多いものがあったため高くなっており、当該2年を除く6年平均では0.5%である。

【新聞】

	新聞	チラシ	その他紙 〈基準 1%以下〉	禁忌品(A+B) 〈基準 0.3%以下〉
令和元年度	59.9%	37.8%	1.9%	0.4%
過去8年※平均	61.3%	36.1%	2.2%	0.3%

【雑誌】

	雑誌	その他紙 〈基準 5%以下〉	禁忌品(A+B) 〈基準 0.5%以下〉
令和元年度	58.4%	40.1%	1.5%
過去8年※平均	62.8%	36.1%	1.1% ^注

注) 過去8年平均の禁忌品は、平成24年度、令和元年度の一部ベールで禁忌品混入の多いものがあったため高くなっており、当該2年を除く6年平均では0.6%である。

(2) 古紙品質情報ネットワークの運用

古紙品質トラブル報告を全国展開にするとともに、新たにトラブルに至らないものの改善を促した古紙品質情報の報告を設けた。報告された情報は、全国製紙原料商工組合連合会の会員専用ホームページに掲載する。

古紙品質トラブルの報告件数は以下のとおりである。

() は昨年度件数

感熱性 発泡紙	臭いの ついた紙	昇華転写紙	ロウ段	その他	計
14 (9)	1 (1)	8 (4)	2 (0)	3 (5)	28 (19)

品質改善を促した古紙品質情報は令和元年 10 月より実施した。求めた品質情報は製紙工場での受入れ時もしくは仕込み時の検収におけるもので、報告件数は以下のとおりである。

【受入れ時検収】

	感熱性 発泡紙	臭いの ついた紙	昇華 転写紙	ロウ段	その他	計
北海道地区		10	1	106	52	169
東北地区					2	2
関東地区		19		67	34	120
静岡地区		16			224	240
中部地区				4	5	9
近畿地区		12		59	46	117
中・四国地区		3	1	1	128	133
九州地区		83		90	123	296
合計		143	2	327	614	1,086

【仕込み時検収】

	感熱性 発泡紙	臭いの ついた紙	昇華 転写紙	ロウ段	その他	計
東北地区		8		139	105	252
関東地区			9			9
静岡地区		1	16			17
中部地区	1	1		17	39	58
近畿地区		16		43	7	66
九州地区				48	3	51
合計	1	26	25	247	154	453

(3) 個別古紙品質対策

プラスチック代替として使用する企業に拡がりを見せているストーンペーパーについては、一般的には紙との見分けが困難であり古紙への混入が懸念されることから、製紙連合会を中心として、全国製紙原料商工組合連合会と協力し、混入防止に向け製造販売会社に対策の要請を行うとともに需給両業界および関係先との情報共有を図った。

また、感熱発泡紙に対応した低価格の新たな機械(プリンター)が販売されたことから、販売会社を訪問し、感熱性発泡紙の混入防止の協力を要請した。

2. 広報事業

紙リサイクルの促進を図るため、古紙排出時の分別及び禁忌品除去の徹底や未利用古紙の掘り起こし等に関する事業を実施した。中でも重点事業として、地方自治体職員や未来の紙リサイクル促進を見据え小中学生を対象とした啓発事業、紙リサイクルセミナーの実施に取り組んだ。

(1) 紙リサイクル啓発事業

1) 紙リサイクル意見交換会

地方自治体との連携強化を目的に、古紙回収の現状及び課題等に関する意見交換会を実施した。懸案であった東京二十三区との意見交換会を実施し、古紙輸出環境が厳しくなっている中、日本の紙リサイクル維持に向けては新たな輸出先の確保が必要として品質改善の重要性また回収コストへの助成が必要なことなど意見交換を行った。

開催日	地方自治体	製紙・古紙業界関係者
令和元年 7月23日	名古屋市、豊橋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、安城市、稲沢市、東海市、知多市、尾張市、豊明市、田原市、北名古屋市、大口町	王子エコマテリアル(株)、王子マテリア(株)、(株)石川マテリアル、リメイキング(株)、(株)日刊紙業通信社、中部製紙原料商工組合、(公財)古紙再生促進センター
令和2年 1月29日	特別区清掃リサイクル主管課長会会長(北区)、副会長(千代田区、足立区)、事務局(北区)、東京二十三区清掃一部事務組合(4名)	日本製紙(株)、レンゴーペーパービジネス(株)、王子エコマテリアル(株)、美濃紙業(株)、関東製紙原料直納商工組合、(公財)古紙再生促進センター

2) 紙リサイクル出前授業

主に小学生高学年を対象に紙リサイクルへの理解を深め、紙リサイクル体制の維持・発展に資するため、引き続き実施の拡大を図るとともに、テキストの改編・充実および講師育成を行った。

実施校数は79校(前年度比24校増)、参加者は5,041名(前年度比1,451名増)。

地区	実施日	対象学校・学年	参加者数
北海道	令和元年 9月11日	寿都町立潮路小学校 4・5年生	9名
	9月12日	帯広市立明星小学校 4年生	94名
	11月27日	札幌市立本通小学校 4年生	72名
東北	令和元年 6月11日	石巻市立山下小学校 4年生	47名
	7月24日	一戸町立一戸南小学校 4年生	16名
	10月3日	南相馬市立大甕小学校 4年生	14名
関東	令和元年 5月9日	朝霞市立朝霞第四小学校 4年生	107名
	7月24日	昭島市 小学3～5年生	20名
	8月6日	船橋市 小学3～6年生	53名
	8月8日	厚木市 小学1～6年生	30名
	8月19日	行方市 小学1～6年生	52名
	8月23日	狛江市立緑野小学校 3～6年生	4名
	10月5日	府中市立矢崎小学校 4年生	57名

地 区	実 施 日	対象学校・学年	参加者数	
関 東	令和元年 11 月 6 日	富里市立浩養小学校 4 年生	13 名	
	11 月 9 日	富里市立根本名小学校 4～6 年生	90 名	
	12 月 19 日	富里市日吉台小学校 4 年生	54 名	
	令和 2 年 1 月 29 日	桐生市立川内小学校 6 年生	65 名	
静 岡	令和元年 7 月 9 日	富士市立大淵第二小学校 4 年生	5 名	
	7 月 11 日	富士市立富士川第二小学校 4 年生	61 名	
	7 月 18 日	富士市立須津小学校 4 年生	101 名	
	9 月 12 日	富士市立今泉小学校 4 年生	97 名	
	9 月 12 日	富士宮市立富士見小学校 4 年生	75 名	
	9 月 20 日	富士市立丘小学校 4 年生	145 名	
	10 月 8 日	富士市立神戸小学校 4 年生	23 名	
	10 月 10 日	富士宮市立内房小学校 4・5 年生	21 名	
	10 月 21 日	伊東市立宇佐美小学校 5 年生	59 名	
	10 月 23 日	富士宮市立富丘小学校 5 年生	131 名	
	11 月 1 日	沼津市立浮島小学校 4 年生	33 名	
	11 月 5 日	富士宮市立井之頭小学校 4 年生	5 名	
	11 月 7 日	富士市立岩松北小学校 4 年生	127 名	
	11 月 20 日	富士市立東小学校 4 年生	12 名	
	11 月 22 日	伊東市立池小学校 4 年生	7 名	
	12 月 12 日	富士市立吉永第二小学校 4 年生	24 名	
	中 部	令和元年 6 月 4 日	名古屋市立内山小学校 4 年生	25 名
		6 月 4 日	桑名市立七和小小学校 4 年生	66 名
6 月 10 日		名古屋市立大手小学校 4 年生	66 名	
6 月 10 日		名古屋市立伝馬家小学校 4 年生	45 名	
6 月 12 日		名古屋市立松栄小学校 4 年生	129 名	
6 月 12 日		名古屋市立豊治小学校 4 年生	113 名	
6 月 13 日		名古屋市立金城小学校 4 年生	61 名	
6 月 17 日		名古屋市立広路小学校 4 年生	70 名	
6 月 19 日		名古屋市立城北小学校 4 年生	84 名	
6 月 19 日		名古屋市立大磯小学校 4 年生	43 名	
6 月 20 日		名古屋市立港西小学校 4 年生	106 名	
6 月 21 日		名古屋市立弥富小学校 4 年生	130 名	
6 月 25 日		名古屋市立名東小学校 4 年生	211 名	
6 月 27 日		名古屋市立山根小学校 4 年生	94 名	
7 月 10 日		名古屋市立藤が丘小学校 4 年生	106 名	
7 月 12 日		鈴鹿市立郡山小学校 4 年生	48 名	
7 月 12 日		岐阜市立城西小学校 4 年生	61 名	
7 月 16 日		名古屋市立大野木小学校 4 年生	84 名	
7 月 16 日		名古屋市立高針小学校 4 年生	55 名	

地 区	実 施 日	対象学校・学年	参加者数
中 部	令和元年 7月17日	名古屋市立稲葉地小学校 4年生	108名
	9月11日	名古屋市立日々津小学校 4年生	62名
	9月12日	岐阜市立七郷小学校 4年生	131名
	9月24日	岐阜市立厚見中学校 1年生	30名
	9月26日	名古屋市立大清水小学校 4年生	172名
	10月 2日	豊明市立栄小学校 4年生	100名
	10月11日	岐阜市立長森東小学校 4年生	76名
	10月17日	可児市立春里小学校 4年生	73名
	11月 7日	可児市立今渡北小学校 4年生	162名
	11月15日	東郷町立音貝小学校 4年生	87名
	11月27日	岐阜市立本荘小学校 5年生	90名
	12月 6日	四日市市立桜台小学校 4年生	53名
	近 畿	令和元年 6月 6日	姫路市立八木小学校 4年生
9月13日		姫路市立荒川小学校 4年生	166名
11月16日		姫路市立太市小学校 3・4年生	22名
令和2年 2月27日		たつの市立揖保小学校 3・4年生	67名
中・四国	令和元年10月17日	奥出雲町立鳥上小学校 3・4年生	5名
	10月19日	松前町役場 小学1～6年生	42名
	11月 6日	高松市立高松第一小学校 6年生 高松市立高松第一中学校 1年生	37名
	11月12日	広島市立大河小学校	70名
	令和2年 1月14日	下松市立豊井小学校 5年生	9名
九 州	令和元年 5月30日	熊本市立出水小学校 4年生	63名
	6月29日	武雄市立武内小学校 4年生	15名
	8月 7日	武雄市 小学4～6年生	11名
	11月16日	のむら姪浜ヒルズ子供会 小学1～6年生	17名
	12月22日	鹿島市小学2～6年生	30名
実施校数:79校・参加者数:5,041名 (昨年度55校・3,590名)			

※ センター以外に古紙問屋・組合が実施した出前事業数：59校

3) 地域広報活動

各地区委員会で紙リサイクルイベントの参加など紙リサイクル啓発活動を実施した。

地 区	開 催 日	開催地	行 事 名	内 容
北 海 道	令和元年 9月 1日	北海道 苫小牧市	リサイクルペーパーフェア	古紙の分別、禁忌品除去、古紙利用促進のPR、工作体験、啓発資料・ノベルティ配布等
東 北	令和元年 9月 1日	宮城県 仙台市	エコフェスタ 2019	古紙の分別体験クイズ、紙すき体験、啓発資料・ノベルティ配布等
静 岡	令和元年 10月26日 ～27日	静岡県 富士市	第6回 富士山紙フェア	古紙分別回収・禁忌品混入防止の呼びかけ、雑がみ回収用袋・紙リサイクルノートの配布等

地区	開催日	開催地	行事名	内容
中部	令和元年 8月24日	石川県 金沢市	いしかわ 環境フェア	古紙回収・利用促進PR
	9月14日	愛知県 名古屋市	環境デーなごや 2019	古紙分別のパネル展示、雑がみ・紙製容器包装に関するクイズ、アンケート用紙の配布等
	9月29日	長野県 長野市	ながの 環境フェア	古紙回収・利用促進のPR、ノベルティの配布
	10月11日	愛知県 名古屋市	名古屋市 施設見学会	製紙工場・古紙回収会社 設備の見学会
	11月23日	山梨県 甲府市	甲府市環境 リサイクルフェア	紙リサイクルに関するパネル展示
近畿	令和元年 9月21日	滋賀県 大津市	大津市 リサイクルフェア	古紙分別・古紙利用促進のパネル展示、紙すき体験、啓発資料の配布等
	10月5日	兵庫県 神戸市	リサイクルペーパー フェア	古紙分別・古紙利用促進のパネル展示、紙すき体験、啓発資料・ノベルティ配布等
	10月6日	奈良県 奈良市	ならクリーン フェスタ	古紙分別・古紙利用促進のパネル展示、紙すき体験、啓発資料の配布等
中・四国	令和元年 6月1日	山口県 岩国市	岩国環境 フェスタ 2019	啓発資料の配布等、紙すき体験、古紙利用促進のパネル等展示
九州	令和元年 12月19日 令和2年 2月4日	福岡県 北九州市	古紙リサイクル バスツアー	北九州市内の小学校2校の小学生高学年児童を対象に古紙の回収・流通・再生の現場の見学会、紙すき体験

4) 紙リサイクル研修会

ア 紙リサイクル研修会

紙リサイクルの促進を図るため、主に市民を対象に紙リサイクルの現状や注意点などを説明する研修会を実施した。実施回数は10回、参加者は約1,900名。

開催日	開催地	対象者	参加者数	申込団体等
令和元年 6月8日	岐阜県 大垣市	大垣市廃棄物減量等推進委員	414名	大垣市生活環境部クリーンセンター
8月9日	群馬県 高崎市	高崎市環境保健委員	約400名	高崎市環境保健協議会
10月4日	群馬県 館林市	館林市廃棄物減量等推進員	約500名	館林市市民環境部地球環境課
10月31日	岩手県 花巻市	花巻地域公衆衛生組合長	71名	花巻地域公衆衛生組合連合会
11月14日 11月15日	新潟県 新潟市	クリーンにいがた推進員	91名 88名	新潟市環境部廃棄物対策課
11月22日	群馬県 桐生市	桐生市ごみ減量化推進協議会会員	約40名	桐生市市民生活部環境課
11月22日	石川県 金沢市	石川県再生資源事業協同組合、金沢市等	14名	石川県再生資源事業協同組合
12月11日	群馬県 伊勢崎市	環境指導員、くらしの会会員、市民	127名	伊勢崎市環境指導員会
12月13日	東京都 中央区	釜山古紙連合会	10名	株式会社エコマツ産業

開催日	開催地	対象者	参加者数	申込団体等
令和2年 2月24日	岐阜県 岐阜市	一般市民	140名	岐阜市環境部低炭素・ 資源循環課
実施回数：10回 ・ 参加者数：1,895名（昨年度18回 ・ 1,687名）				

イ 紙リサイクル見学会の実施

令和元年度より新たに実施した。令和元年10月7日に足立区内の集団回収実施団体を対象に古紙分別、禁忌品除去の必要性の再認識、紙リサイクルの動向を理解して頂くことを目的に、美濃紙業株式会社千住東営業所、レンゴー株式会社八潮工場の見学会を行った。

5) 紙リサイクルセミナー

2020年末中国の古紙輸入“ゼロ”を踏まえ、下記テーマにて開催した。

日時： 令和元年10月30日 13時30分～16時00分

会場： 星陵会館 参加者数：287名

講演： ① 「廃プラスチックの現状と処理」

一般社団法人日本RPF工業会 総務広報委員長

株式会社タズミ 常務取締役 田墨 啓治 氏

② 「中国が与えた影響～欧米の古紙輸出と東南アジアの古紙輸入の動向～」

公益財団法人古紙再生促進センター 業務部 国際担当部長 金谷 信章

③ 「国内古紙の品質改善について」

全国製紙原料商工組合連合会 経営革新委員会 委員長

株式会社梶谷商事 代表取締役社長 梶野 隆史 氏

6) 啓発資料等の配布

ア 会報

センターの活動状況、海外の古紙に関する情報等を会報(年4回、1,060部/回)として発行した。

イ 古紙ハンドブック

隔年発行の『古紙ハンドブック2019』を発行した。

ウ 啓発資料の配布

啓発資料は地方自治体・関係団体等へ、提供や貸出しを行った。

内 訳	件 数
チラシ、パンフレットの提供	87件
DVDの提供	5件
啓発用パネル(6枚組)の貸出し	6件

7) 紙リサイクルコンテスト

令和元年度より文部科学大臣賞の新規交付を受けた。また教育関係者の審査委員を増やすとともに公募点数の多い学校に対し学校奨励賞を設けコンテストの充実を図った。11回目となる「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2019」では2,371点の応募があった。全国小中学校環境教育研究会をはじめとする教育関係者等による厳正な審査のうえ、文部科学大臣賞・金賞・特別金賞・銀賞・佳作の各賞を決定し、文部科学大臣賞、金賞、並びに特別金賞受賞者を招いて表彰式を以下のとおり開催した。

日時： 令和元年12月14日 12時～14時

会場： ホテルグランドパレス3階「白樺の間」

後援： 文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国市町村教育委員会連合会、全国小中学校環境教育研究会、読売新聞社、全国製紙原料商工組合連合会、日本再生資源事業協同組合連合会、段ボールリサイクル協議会、日本製紙連合会

<文部科学大臣賞>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	三重県桑名市立 多度東小学校 4年	鈴木 真子	紙のリサイクルこうざに さんかして
ポスター	鹿児島県始良市立 帖佐中学校 1年	横山 瑠奈	資源のリレー

<金賞>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名	
作 文	小学生部門	神奈川県相模原市立 谷口台小学校 1年	乾 葵央	山は大きいままで
	中学生部門	大阪府吹田市立 第六中学校 1年	山下 うらら	地域みんなで紙リサイクル
ポスター	小学生部門	富山県富山市立 大広田小学校 6年	野々村 有莉	みんなで学ぼう紙リサイクル
	中学生部門	岡山県岡山市立 高松中学校 1年	山本 直実	紙に未来を

<特別金賞>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
全国製紙原料商工組合 連合会 理事長賞	東京都江東区立 八名川小学校 4年	雫石 華凜	楽しくリサイクル！ (作文)
日本再生資源事業協同 組合連合会 会長賞	福井県越前市 武生第一中学校 2年	酒井 明日花	限りある資源を大切に するために (作文)
段ボールリサイクル 協議会 会長賞	東京都大田区立 六郷小学校 4年	早川 明里	紙リサイクルつづけよう！ (ポスター)

<銀賞>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名	
作 文	小学生部門	東京都荒川区立 第三日暮里小学校 4年	草柳 祐美子	もったいないをなくそうよ
	中学生部門	宮崎県宮崎県立宮崎西 高等学校附属中学校 1年	川越 優羽	紙リサイクルは幸せの鍵
ポスター	小学生部門	鹿児島県霧島市立 天降川小学校 1年	野崎 宏太	すてないでリサイクル
	中学生部門	東京都小金井市立 緑中学校 2年	山下 理紗	未来へつなぐ紙リサイクル

<佳作>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名	
作 文	小学生部門	山梨県富士吉田市立 吉田西小学校 2年	杉田 蓮	ぼくのふしぎ
		山口県周南市立 富田東小学校 2年	松本 憩	ダンボールリサイクル
	中学生部門	神奈川県横浜共立学園 中学校高等学校 2年	卯尾 奏絵	大人の意識を変えるため
		福岡県太宰府市立 太宰府中学校 3年	志村 真悠	未来を変えるために

<佳作>

部 門		学校名・学年	氏 名	作 品 名
ポ ス タ ー	小学生部門	大阪府島本町立 第二小学校 2 年	若山 怜穂	紙リサイクルで ちきゅうをまもろう！！
		山口県下関市立 室津小学校 6 年	飛垣 七海	地球の運命、 決めるのはあなたです！
	中学生部門	東京都 かえつ有明中・高等学校 1 年	覚張 優花	目指せ！リサイクル名人
		兵庫県神戸市立 太山寺中学校 1 年	藤原 彩音	未来につなぐ紙リサイクル

<学校奨励賞>

部 門	学校名
小学生部門	愛知県豊田市立竹村小学校
中学生部門	大阪府吹田市立第六中学校

8) 未利用古紙の掘り起こし・品質確保等の啓発

平成 30 年度のリニューアルに続きセンターホームページの閲覧者の増加を図るため、紙リサイクルへの興味・理解を得ることを目的にしたアニメーション動画の作成を進めた。令和 2 年度に完成予定。

また、日本の紙リサイクルシステム維持に向け、全国製紙原料商工組合連合会、日本再生資源事業協同組合連合会との共同で日本の古紙品質の良さを海外の製紙及び政府関係者にアピールするための動画作成を進めた。令和元年度内完成を目指したが新型コロナウイルスの感染拡大の影響により作業は中断し、令和 2 年度に完成予定。

(2) 紙リサイクル普及事業

1) 顕彰制度

ア 集団回収実施団体感謝状贈呈

各地区委員会から推薦のあった集団回収実施団体(60 団体)に感謝状を贈呈した。昭和 62 年開始から累計で 954 団体となった。

推薦地区	団 体 名
北 海 道	黄金中央町内会、恵庭島松東町内会、豊岡ヒナゲシ町内会、パストラ町会、無加川町内会
東 北	弘前市立豊田小学校 P T A、末広町内会、星が丘 1 丁目自治会、山形市立桜田小学校 P T A、金東子供会、萩ヶ丘町内会、水原父母と教師の会、大町育成会
関 東	守谷市下ヶ戸町内会、小山市立豊田南小学校 P T A、安養寺「にんげん」の会、上間久里自治会、さいたま市立新和小学校 P T A、小金原九丁目町会、成田市立桜田小学校 P T A、本木一丁目町会、伊興南町会、杉並区立永福小学校 P T A、国分寺市本多連合町会、下野庭町内会、宿矢名自治会
	新 潟
静 岡	富士市立田子浦小学校 P T A
中 部	豊橋市立花田小学校、植田東学区リサイクル推進会、四日市市立三重小学校 P T A、大野町立大野小学校、南中山小学校、金沢市立長田中学校、高岡市立福岡小学校 P T A、中野市立日野小学校

推薦地区	団 体 名
近 畿	第2西出町町内会、上区自治会、姫路市立安室東小学校 PTA、たつの市立揖保小学校 PTA、たつの市立龍野小学校 PTA、湖北ファルコنز
中・四国	津田ブラックパインズ、雑賀ライガーズ、四軒家子供会、錦西子供会、塩谷自治会
九 州	八女市立黒木西小学校、高峰2・3町内会、のむら姪浜ヒルズ子供会、天祐二丁目東自治会、原口町こども会、城山南部自治会、吉志新町3丁目町内会、社会福祉法人キャンパスの会

イ 集団回収特別活動賞表彰

令和元年度は、集団回収特別活動賞を贈呈する団体は無かった。

2) グリーンマーク

令和元年度の申請に関しては下表のとおり承認した。

【表示承認】	令和元年度	累計
事業者数	13 事業者 (新規承認事業者 5 件)	184 事業者
件数	18 件	704 件

【表示内容変更】	令和元年度
事業者数	3 事業者
件数	6 件

3. 調査研究事業

中国の古紙輸入政策変更及び東南アジアの低品質古紙輸入禁止の動きも踏まえ、国内での古紙品質改善の取組みの調査、地方自治体における古紙関連施策の調査を実施した。また、継続しているオフィス古紙回収モデル事業や個人情報保護法等関係法律の改正を受けリサイクル対応型機密文書処理ガイドライン改正を実施した。

海外では古紙輸入地域である中国をはじめとする東南アジア諸国や古紙輸出国である米国の状況変化の実態を調査し、我が国の紙リサイクルへの影響の把握に努めた。

(1) 国内資源化調査

1) 雑誌・雑がみ・オフィス古紙調査

国内外の古紙品質要求の高まりに伴い、古紙問屋や回収業者が古紙品質改善の取組みをどのように行っているかについて、アンケート調査、及び関東を中心としたヒアリング調査により実態を把握した。

2) 地方自治体古紙関連施策調査

地方自治体の紙リサイクル施策等(古紙回収の方法や古紙の分別・排出促進のための活動、中国の資源物輸入規制の影響等)に関するアンケート調査を全市区町村を対象に行い、報告書を地方自治体や製紙・古紙業界関係者等に配付した。

3) 新技術に対応した紙リサイクル促進に関する調査研究

日本の脱墨試験をJIS化するため、試験内容を検討した。令和 2 年度に試験内容のテストを実施予定。

製紙工場での処理設備・技術も進んでいる中、一方では自治体や排出元より“禁忌品が多く

て全ての周知徹底が困難、減らせないか”との声があり、禁忌品の見直しの可否に向け、古紙処理試験施設にて感熱紙、カーボン紙、ノーカーボン紙のリサイクル性の確認テストを行い、古紙処理に与える影響を調査した。

4) オフィス古紙回収モデル事業

少量排出事業所対象に可燃ごみとして排出されているオフィス古紙を掘り起こし、製紙原料として利用するモデルの構築を目的として、新潟市新津商工会議所の協力の下、3年計画で平成30年4月より同市秋葉区にてオフィス古紙回収モデル事業を実施している。同モデル事業は令和2年度も継続し、同年度を以って終了する。

5) リサイクル対応型機密文書処理ガイドラインの改訂事業

機密文書処理ガイドラインの改正内容を検討するため、2020年1月に機密文書処理ガイドライン改正委員会を設置した。2回の委員会を持ち改正内容の検討結果を以って2020年3月にガイドラインを改正した。

6) 国・地方自治体等の紙リサイクル推進への協力

- ア 経済産業省「古紙リサイクル検討会」
- イ 経済産業省「アジア紙リサイクル構築支援事業」
- ウ 紙製容器包装リサイクル推進協議会主催の技術委員会
- エ ISO/TC130WG11「ISO印刷技術」国内委員会脱墨分科会
- オ 包装技術委員会/ISO1860委員会
- カ 越谷市廃棄物減量等推進審議会

(2) 海外市場調査

1) 中国古紙市場調査

令和元年11月20日に中国江蘇省無錫市にて、「中国の古紙輸入政策の変更」をテーマとして第8回日中古紙セミナーを開催した。日本からの訪中団23名を合わせ約200名の参加を得た。また、セミナー開催に併せて、現地古紙ヤードの見学を行った。

① 第8回 日中古紙セミナー

日 時： 令和元年11月20日 8時30分～12時00分

会 場： 無錫恒通花園酒店5階 錦江庁(江蘇省無錫市)

参加者数： 約200名(うち、日本訪中団23名)

主催者挨拶： 中国造紙協会 理事長 趙偉氏

講 演： ① 「日本の古紙事情と中国の古紙輸入政策による影響・対策」

全国製紙原料商工組合連合会 渉外広報委員長 須長 利行氏

② 「中国製紙業の現状と原料の需要」

中国造紙協会 秘書長 錢毅氏

③ 「古紙のリサイクル回数増加に伴う繊維強度低下への対応」

レンゴー株式会社 尼崎工場 製紙部部長代理 山本 浩平氏

④ 「中国製紙企業における繊維原料使用の現状」

中南(天津)再生資源有限公司 張秀紅氏

⑤ 「名古屋市のごみ分別排出とリサイクル」

全国製紙原料商工組合連合会 副理事長

中部製紙原料商工組合 理事長 石川 喜一郎 氏

質疑応答： コーディネーター 江蘇省造紙行業協会 会長 牛 慶民 氏

閉会挨拶： 中国再生資源回収利用協会 常務副会長 孫 建波 氏

② 見学

日 時： 令和元年 11 月 20 日 13 時 45 分～16 時 00 分

会 場： 江蘇省紙聯再生資源有限公司(無錫市内)

2) 調査ミッションの派遣

平成 29 年度の米国東海岸地区、平成 30 年度の欧州調査に続き、米国西海岸地区の資源リサイクル会社、廃棄物回収・処理会社、製紙会社を訪問し、中国の古紙輸入規制による米国内の古紙需給状況の調査を行った。中国の古紙輸入政策変更に伴う欧米の現地調査は、本調査を持って一区切りとする。

メンバー： レンゴーペーパービジネス株式会社 取締役東部営業部長 長谷川 浩
株式会社紙資源 常務取締役 大津 正樹
(公財)古紙再生促進センター 業務部国際担当部長 金谷 信章
(公財)古紙再生促進センター 業務部業務課主査 濱野 彰吾

訪問先： 9 月 30 日 Recology (廃棄物回収・処理会社)

(面談者) John Ferrari (Recology Senior Operation Manager)

Kari Talvola (Fibre Trade Inc. Managing Director)

Hiroshi Iwai (Fibre Trade Inc. Sales Manager)

GREEN PLANET 21 (資源リサイクル会社)

Steve Sutta (President)

10 月 1 日 Allan Company (資源リサイクル会社)

Jason Young (President/CEO)

Yun Koo (Vice President)

Allan Company サンディエゴ

Gary McGrath (General Manager)

10 月 2 日 Potential Industry (資源リサイクル会社)

Tony J.Fan (President)

Tony W.Wang (Vice President)

10 月 3 日 International Paper

Global Cellulose Fibers Innovation Center

John Hermansen (Sales Representative)

10 月 4 日 International Paper Springfield mill

Eric Seme (Customer Technical Service Manager)

Marge Huseman (Manager / Manufacturing Excellence)

Jim Rondeau (Area Process Manager / Recycled Fiber)

Josh Roll (Recovered Fiber Buyer)

Brandon Holder

Jennifer Fink

(3) 統計調査

1) 古紙統計年報

古紙の入荷量・消費量データを基に古紙統計をとりまとめ、関係各方面に提供した。

2) 国内統計・資料作成

経済産業省紙パルプ統計(生産・出荷・在庫統計、原材料統計)、財務省貿易統計(古紙、紙類、パルプ)等のデータについて収集・整理・分析・加工するとともに、製紙メーカーを対象に紙・板紙の生産量、紙・板紙生産のために要した繊維原料(古紙、パルプ等)などについて調査・集計し、以下の統計をまとめ、ホームページ等を活用し、広く一般に提供した。

- ア 年間古紙需給統計
- イ 古紙需給推移(品種別)
- ウ 紙・板紙向別古紙品種別消費量推移
- エ 古紙回収率推移
- オ 古紙利用率推移
- カ 古紙品種別輸出先別輸出実績
- キ 古紙品種別輸入先別輸入実績
- ク 中国の古紙輸入量(地域別・品種別)
- ケ 古紙消費原単位

3) 海外統計

中国造紙協会、韓国製紙連合会、台湾造紙協会、欧州製紙連合会、米国森林製紙協会、RISIの古紙関連統計を収集し、関係各方面に提供するとともにホームページや会報に掲載した。

4. 紙の資源リサイクル安定化対策事業

中国のみならず、古紙輸入地域である東南アジア・インドの古紙輸入政策が古紙輸出国の紙リサイクルシステムに大きな影響を与えている中、日本の紙リサイクルシステム維持に向け、関係国の紙リサイクルの実態把握に努めるとともに、中国に代わる古紙の輸出先と確保に向け調査を実施した。

(1) 古紙余剰対策事業

中国の古紙輸入削減に伴い、年末から年始にかけて古紙の置き場問題が懸念されたことから、製紙メーカー、古紙問屋、製紙連、全原連をメンバーとする「日本の紙リサイクル維持に向けて」の会議を毎月開催し、状況の把握・共有を図るとともに、製紙メーカーでの古紙利用増ならびに需給両業界での在庫積み増しを行った。センターの備蓄事業は実施しなかった。

(2) 紙の資源リサイクル安定化施策事業

1) 海外における紙リサイクルの現状と紙リサイクル安定化施策等の調査

中国向け古紙パルプの生産を拡大している台湾、ならび古紙需要が急激に伸びているインドネシアの調査を行った。インドネシアについては、2～3月にかけて2回目の調査予定であったが、新型コロナウイルスの影響で中止した。

【台湾】

台湾の製紙会社は日本の輸出古紙の主要市場であるが、2017年から2018年にかけてシェアが減少。シェア回復の契機となるよう、主要需要先を訪問し、日本の古紙の優位性を再アピー

ルした。また、台湾造紙協会においては、今後の輸入古紙に対する品質基準につき、状況を聞き取り調査した。

メンバー： 関東製紙原料直納商工組合 需給委員会委員長 山室 新太郎 氏
(株式会社山博 代表取締役社長)

関東製紙原料直納商工組合 需給委員会副委員長 持永 毅 氏
(三弘紙業株式会社 取締役本部長)

(公財)古紙再生促進センター 業務部国際担当部長 金谷 信章

訪問先： 9月9日 Cheng Loong Paper
9月10日 Yuen Foong Yu Paper Group
台湾造紙協会

【インドネシア】

インドネシアを訪問し、同国政府の輸入古紙に対する規制政策の内容確認、及び日本の古紙の輸出ルート拡大・開拓等の事前調査を行った。

メンバー： 全国製紙原料商工組合連合会 渉外広報委員会副委員長 服部 茂樹 氏
(北勢商事株式会社 代表取締役)

(公財)古紙再生促進センター 業務部国際担当部長 金谷 信章

(公財)古紙再生促進センター 業務部業務課主査 濱野 彰吾

訪問先： 12月9日 インドネシア製紙協会
12月10日 PT.ASPEX KUMBONG 工場

2) 製紙原料以外の古紙用途に関する調査

低質古紙の製紙原料以外への利用実態を調査し、報告書に取りまとめた。

5. その他の事業

各地区委員会において、古紙に関する情報交換、研修会等の活動を実施した。

以上

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和2年6月

公益財団法人古紙再生促進センター